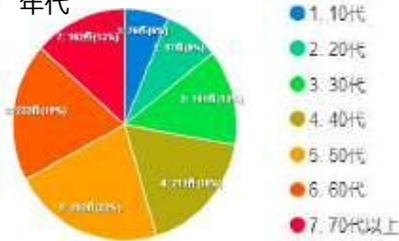


1. アンケート調査

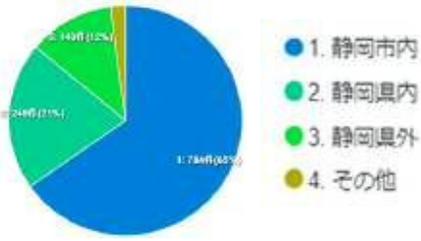
目的	国内外から多くの来訪者が見込める世界お茶まつり2022にて、「静岡市のお茶」の新たな需要の創出やブランド化推進を図ることを目的として実施したもの。	調査内容	水出し緑茶2種類（浅蒸し緑茶、深蒸し緑茶）とペットボトル茶の比較
期間	2022年10月20日（木）～2022年10月23日（日）	調査方法	LoGoフォーム（電子申請システム）を利用したアンケート調査
調査場所	世界お茶まつり2022 静岡市茶業振興協議会ブース	回答数	1,201人

2. アンケート結果

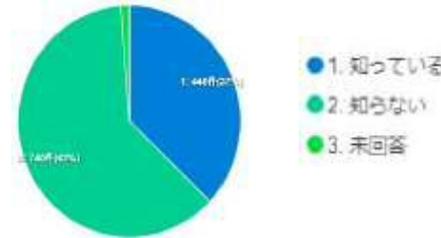
Q 年代



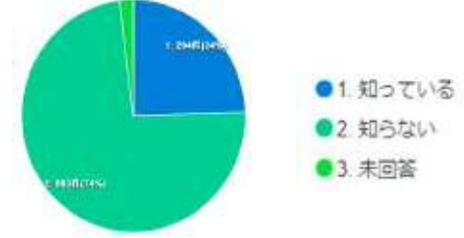
Q 居住地



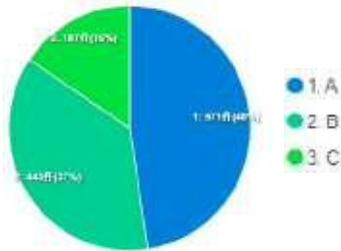
Q 11月1日静岡市「お茶の日」を知っていますか



Q 毎月1日「お茶に親しむ日」を知っていますか



Q 美味しかったお茶はどれですか



Q あなたが好みと回答した理由を教えてください

A 水出し緑茶（浅蒸し）



B 水出し緑茶（深蒸し）



C ペットボトル茶



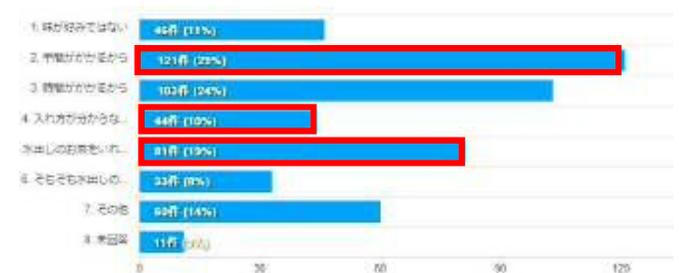
Q あなたは普段水出しのお茶を飲みますか



Q 水出しのお茶を飲む理由



Q 水出しのお茶を飲まない理由



4. 総括

- ・水出し緑茶（浅蒸し+深蒸し）とペットボトル茶を比較した場合、水出し緑茶が好みであると回答した方が85%であり、水出し緑茶の方が消費者に選ばれる傾向がある。
- ・3種類のお茶のうち、水出し緑茶（浅蒸し）が好まれる傾向にあり、好みの理由が「甘みを感じたから」という回答が最も多く、浅蒸しの「山のお茶」が特徴的な市内産茶葉は水出し緑茶にて好まれる可能性がある。
- ・水出しのお茶を飲む理由として「手軽だから」という回答が2番目に多い一方、水出しのお茶を飲まない理由として「手間がかかるから」という回答が最も多く、その他「入れ方がわからない」「容器を持っていない」という方も一定数いることから、専用のボトル等により手軽に水出し緑茶を作れることが消費者に認知されていない可能性がある。

5. 今後の進め方

- ・市内産茶葉は浅蒸しの「山のお茶」が特徴的であり、水出し緑茶にて好まれる可能性のあることから、JA静岡市が推進する「外茶計画」と併せて、水出し緑茶の需要喚起及びPRを推進する。
- ・水出しのお茶について、手軽な作り方や入れ方等が消費者に認知されていないことから、専用ボトル等のPRも含めた「飲み方提案」を行う。
- ・他業種（飲食組合等）と連携しながら、市内産の茶葉を使用した水出し緑茶を楽しんでもらうための施策を検討する（参考：冷茶ボトルキャンペーン）